

県連ニュース

2017年 10月号 NO-554



『五竜岳 山頂』 2014.09.14 撮影
滋賀山友会所属 北村 光雄 さん 提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

リレーエッセイ	2
案内	
救助隊安全登山講習会（既報）	3
第55回 登山祭典（既報）	4
創立40周年記念祝賀会（既報）	5
雪崩事故を防ぐための講習会（既報）	6
報告	
第8回 理事会議事録	
ハイキングセミナー（Ⅰ）・（Ⅱ）	9
救助隊事務局会議	13
全国労山自然保護講座に参加して	14
CSSレベルアップ登山講座	17
滋賀民報社掲載原稿（その7） 転載	20
ぐうたら理事長のつぶやき	21
予 定 表	22

すべて 私事で恐縮ですが、

22歳の頃、職場の先輩に誘われ山の会に入会しました。二人共あの山友会の五竜岳遭難事故で亡くなりました。あつてはならない事故でしたが、大阪や京都を始めとする多くの労山の仲間が親身になって私達の会を助けてくださいました。

当時の大阪の理事長と女性の事務局長は名コンビで滋賀を盛り立ててくださいました。兵庫労山の原水章行氏の「労山とは…」の組織論や長野労山の和田蔵次氏の自然保護運動の講演にみんな胸を熱くした事でした。あのビーナスラインを “美ナシライン” と名付け、水源が汚染され、水を守ることが命を守ることなんだと力説されたこと。今ではこんな事は当たり前のことですが、感動しました。

今も続けられているようですが、「女性と登山」の全国集会が、その頃、兵庫を皮切りに大阪や名古屋でも次々開催され、登山を続けるため、今とは違う悩みを持った多くの女性が集まり討論されました。滋賀も男性会員までも参加し、解決策は見つからずとも、全国の仲間の知恵と力をもらい有意義な集会でした。40年も前のことです。労山の連帯の大きな力がありました。

ところが、その頃の女性は、結婚と同時にほとんどの人が山から遠ざかり、私も例外にもれず、家事や育児に追われ、その上、仕事をもつ人はもっと大変でした。あの女性集会は何だったのかと考えるヒマもなく、すっかり山のことは何年もの間忘れていました。

時が過ぎ、下の子が幼稚園に行き出したころ、ようやく入会して、会員の皆さんに助けられ、比良や鈴鹿、夏はアルプスと子連れ登山が続きました。こんなことができるのも仲間のおかげです。

そのあとは、やっぱり親の介護問題で山行は大きく左右されました。そんな時でも、古い山の仲間、今の山仲間を支えられ、知恵を借り、切り抜けていくことが出来ました。

山へ一緒に行ける仲間があつてこそ、昔も今も、私にとって山の仲間は “宝もの” です。

不穏な気配の続く北朝鮮、それをとりまくアメリカや日本をはじめとする国、山登りも平和でなければできないこと。子や孫のためにも安全と平和が一番のプレゼント!!

「山筋ゴーゴー」できたえ、平和のなかで、仲間とともに健康で続けられたらということなしです。

いれかわり、たちかわりになって、仕事をし、家庭を持ち、地域とかかわりながらずっとつないできて下さった県連の方々に 感謝 です。

ちごゆり山歩会 一会員

救助隊 安全登山講習会のご案内 既報

「スズを鳴らすと最近の熊は寄って来るなんてウワサがあるそうです」
本当だろうか？という事で「日本熊森協会」の会長をしておられる森山氏にお越
しいいただきお話を聞くことにしました。ウワサの真相や冬眠前の熊の生態と危険
などをお話いただく予定です。

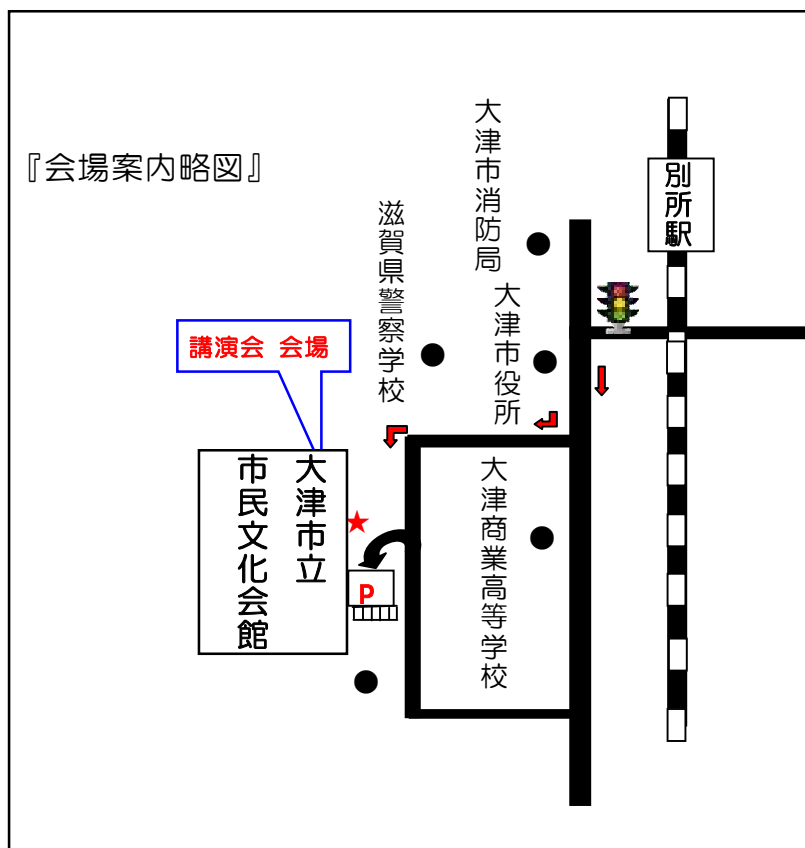
とき 2017年9月30日(土) 受付午後13時30分 開演14時から

ところ 大津市立 市民文化会館 住所 大津市御陵町2-3

(京阪別所駅下車、徒歩約5分)

参加費 500円(予定) 定員 30人(定員になり次第締切り)

申込先 友永 ☎ 077-524-5618 メールは yt19481013@yahoo.co.jp です。



※まだ余裕があります。ふるって参加してください。

第55回登山祭典案内

実施日 2017年10月29日(日曜日) *雨天中止

各会で秋の一日、登山の楽しみを皆が分け合い、55回目を迎えた
登山祭典を盛り上げ、併せて登山人口の拡大に努めましょう。

	担当会	コース	集合場所、申込先等
A	滋賀山友会 音羽山	追分駅→「白石神社」→音羽山頂→ 県境分岐→「亀池」→JR膳所駅 歩行時間約5時間(一般向)	集合 京阪追分駅 9時 参加費 300円 締め切り 10/23 定員 30名 申込先 yamamoto2017@gmail.com 077-525-2245(faxのみ) 080-5633-7799
B	湖南岳友会 雨乞岳	ツルベ谷出合→杉峠→雨乞岳→ 南雨乞岳→奥ノ畑谷→ツルベ谷出合 歩行時間約5時間(一般向)	集合 永源寺支所前 8時 参加費 800円 締め切り 10/15 定員 20名 申込先 村田 啓二 0748-62-9400(faxのみ)
C	比良雪稜会 己高山	小野駅・和邇駅=(貸切バス)= 長浜市古橋バス停→六地蔵→鶏足寺跡→ 己高山→石道寺との分岐→古橋バス停 =(貸切バス)=和邇駅・小野駅 歩行時間約5時間 ※野点を行います	集合 小野駅 7時05分 和邇駅 7時10分 貸切バスに乘車 参加費 一般3500円 中学生以下3000円 定員 50名 締め切り 定員になり次第 申込先 西村 高行 077-594-0454(FAX可) kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp
D	ちごゆり山歩会 観音正寺 と織山 (きぬがさ)	安土駅→観音正寺→観音寺城跡→ →織山→風土記の丘→安土駅 (観音正寺の参拝には別途500円必要) 歩行時間 約4時間30分	集合 安土駅 9時 参加費 200円 定員 なし 締め切り 10/23 申込先 柴田 英男 0771-23-0845(fax可)
E	彷徨倶楽部 大文字山	山科駅→毘沙門堂→大文字山→ 火床→哲学の道 歩行時間約4時間(一般向)	集合 山科駅 10時 参加費 100円 定員 20名 締め切り 10/20 申込先 075-954-2448(fax可)
F	びわこテクテククラブ 金勝アルプス	上桐生→落ヶ滝→天狗岩→耳岩→ 白石峰→狛坂摩崖仏→逆さ観音→上桐生 (草津駅発8時上桐生行のバスあり) ※子供のペースで歩きます。 親子でご参加ください。	集合 上桐生駐車場 参加費 300円 定員 なし 締め切り なし 申込先 星 利三 077-521-3946(faxのみ) 090-6976-6935
	シャクナゲ	他会のコースに参加	

県連 創立 40 周年記念 祝賀会のご案内 既報

日ごろより県連の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、滋賀県勤労者山岳連盟も創立 40 周年を迎えました。先輩諸氏の歩みを引き継ぎ、次々と新しい歴史を重ねることができました。

そこで創立40周年を記念して、ささやかではありますが祝賀会を開催することにしました。ひとりでも多くの会員の皆様にご参加いただき、さらに新しい歩みを一歩ずつ踏み出したいと思えます。また、元会員の方にも連絡がつくようでしたら呼び掛けていただきたいと思います。

参加者は各会でまとめていただき 10 月 20 日くらいまでに友永までお知らせ下さい。

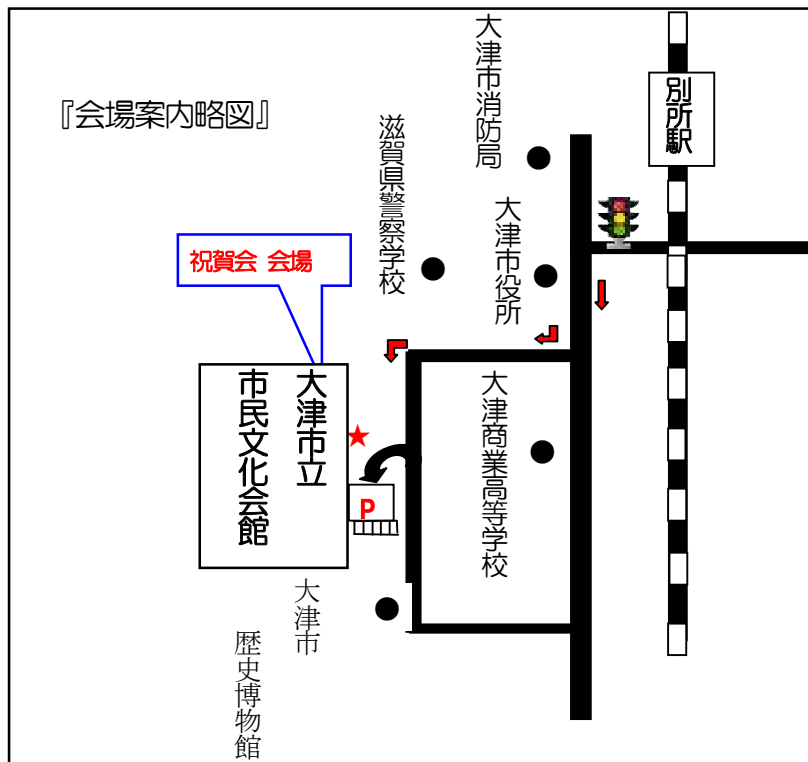
とき 2017 年 11 月 26 日(日) 受付:午前 10 時 30 分 開場:11 時から

ところ 大津市立 市民文化会館 大津市御陵町 2-3(京阪別所駅下車、徒歩約 5 分)

参加費 3000 円

自慢の写真や絵画、懐かしい写真などありましたら、当日お持ちいただき会場に華を添えていただければありがたいと思います。よろしく願います。

どちらも準備の都合がありますので、早めにお知らせください。



第25回近畿ブロック 雪崩事故を防ぐための講習会 既報

参加募集中 主催：日本勤労者山岳連盟近畿地方協議

『理論講習』※2017年11月25日（土）または12月3日9:00～17:30

場所：大阪府勤労者山岳連盟事務所

『実技Ⅰ』※2018年1月20日（土）～21日（日）

場所：長野県駒ヶ根市中央アルプス 千畳敷カール周辺

『実技Ⅱ』※2018年1月27日（土）～28日（日）

場所：比良山・大山口～堂満ルンゼ付近

『定員』※基本クラス20名（初めて受講する方）

中級クラス10名（基本クラス修了者もしくは同等の経験のある方）

『参加費』35,000円（理論講習のみの方 3,000円）

『申し込み・締め切り』 ※11月10日（金）

（近畿ブロック雪崩講習会事務局本文より抜粋）

■申し込み希望の方は、救助隊事務局 友永まで連絡をお願いいたします。

2017年度第8回理事会報告

日時 9月6日(水)19:00～20:30 於：県連事務所

司会：北村 記録：堀部

出席：秋田、北村、友永、奥野、中島、堀部、東郷、長谷川、高玉、池田、川端、
宮内、乾、今村

下記議題につき報告、協議、決定しました

議題：

1. 比良縦走大会(協議)

- ・日程 9/24(日)
- ・担当 遭難対策部(今村・川端) 教育部(長谷川・乾)
- ・県連ニュース9月号に告知記事(今村)
- ・実行委員長 今村・会計 宮内、友永
- ・コース 栗原⇒権現山⇒蓬莱山⇒北比良峠(チェックポイント)
⇒楊梅ノ滝入口東屋前
- ・参加費 1000円＋交通費 500円、締め切り 9/4
9/6集計 (雪稜)3、(山友)7、(岳友)5 計15名
- ・集合 JR和邇駅前7:10⇒タクシーで権現登山口に移動、参加人数でタクシー台数を決める
- ・中止の判断 9/23(土)17:00 滋賀県南部の降水確率予報 50%以上で中止

連絡 今村→各会連絡担当→参加者、及び理事会メーリングリストで連絡

- ・ 諸注意・コース説明 今村
 - ・ 準備 受付名簿→友永、コース地図→今村、携帯→友永、完歩証→今村、
県連腕章→各自、
チェックポイント飲み物他→宮内、高玉、池田
ゴール接待→乾、長谷川、友永 アルコール飲料は無
 - ・ スーパー (スタート～北比良峠)川端、東郷、中島
(北比良峠～ゴール)今村、宮内、高玉
 - ・ サブコース設定なし、コース変更なし(打見山頂経由で昨年と同じ)
 - ・ コースの確認 秋田・救助隊
 - ・ 登山時報へ投稿予定→友永
2. 祝賀会(40周年記念行事)(協議)
- ・ 40年の歩み→9月末ころまでに作る
 - ・ 寺川元会長、西村さん、柴田さん、村田さん、重井さんに投稿を依頼した
 - ・ 寺川さんから投稿あり、村田さん辞退、柴田さん、西村さん執筆中
 - ・ 創立以来現役の会員として活動しておられる4名の方を表彰する
 - ・ 祝賀会 11/26(日)大津市立市民文化会館で実施する。 10時30分開場、11時開会、15時閉会 スタッフは9時集合、17時後片付け終了予定
 - ・ 案内文を9月号、10月号の県連ニュースに掲載
 - ・ 会場下見、料理打合せ 9/8(金)に予定(準備担当、宮内)
 - ・ 次回打合せ 9/21(木)14:00～事務所
3. 登山祭典(協議)
- ・ 日程 10/29(日)・担当 友永、池田
 - ・ 場所 (山友会)音羽山、(岳友会)雨乞岳、(雪稜会)己高山、(彷徨倶楽部)大文字山
(ちごゆり)繖山、(シャクナゲ)他会コースに参加
(びわこテクテククラブ)金勝アルプス
 - ・ 各会コース確定済 県連ニュース9月号掲載済み
 - ・ チラシ作成済 8/22 発送済
 - ・ 一般参加者の保険締め切り 10/26→名簿を友永へ、保険料100円を県連に支払
 - ・ 滋賀民報9月号に掲載
4. 各部報告

組織：会員数動向 (前年度末対比 215/222 96.8%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
80/80	52/52	46/47	15/16	17/17	5/5
合計		2017.8E/2017.7E			
		215/217 99.1%			

・ 登山祭典チラシ(配布済み)

《労山》 770部

山友、岳友、雪稜 各 200 部 シャクナゲ 20 部 彷徨、ちごゆり、
びわこテクテククラブ 各 50 部 《県連事務所保管》 150 部
《登山用品店》 350 部 岩と雪、あるむ 各 50 部 好日山荘京都 100 部
(新規協賛店)

XEBIO SPORT 京都、THE NORTHFACE、LOGOS(竜王) 各 50 部

・2018 年 労山カレンダー申込(@800 円、期限 9/25 組織友永迄)

表紙に湖南岳友会の森原さんの写真が採用されています

教育：ハイキングセミナー5 名申し込み

8/5(土)座学 7 名参加(5 名+講師、スタッフ各 1 名)

8/19(土)第 1 回、9/2(土)第 2 回実技 音羽山 各 7 名参加

9/16(土)第 3 回実技 音羽山周辺予定

機関紙：県連ニュース 10 月号 原稿締め切り 9/15、印刷 9/21

財政：9 月末で前半の仮決算を行う、立替精算は月末までに

救助隊：9/11 事務局会議→講習会打合わせ

・9/30 安全登山講習会「熊対策」→大津市立 市民文化会館(14:00-16:00)

参加費 500 円

申込→友永迄

・救助隊事務局メンバー募集中

CSS：8/5-6 阿弥陀岳南稜 5 名参加 8/25-27 白毛門岳～谷川岳 中止

9/8-10 横尾本谷～槍ヶ岳 5 名参加予定

自然保護・遭難対策・SKI-NET は特記事項なし

3. その他

・モンベルスポンサー契約について→返答待ち→ダメの方向

・第 20 回 労山自然保護講座 8/19～20 尾瀬・山ノ鼻小屋 近藤さん(雪稜)参加→
補助は半額

・全国ハイキング学校 9/16～18 湯沢町 ホテルクライム

・全国自然保護担当者会議 10/28～29 日光温泉 旅の宿・風のひびき

・第 1 回 全国救助隊技術交流集会 11/4～5 長野県川上村 参加費 8,000 円
定員 25 名確定

・第 8 回 女性と登山全国集会(12/2～3)埼玉県嵐山市 国立女性教育会館 締切 10/31
定員 150 名

・第 10 回 理事会 11/1(水)から 11/8(水)に変更したい

■次回第 9 回理事会 10 月 4 日(水) 19:00～

音羽山(ハイキングセミナー I)

2017年8月19日 晴

(参加者)友永、馬場

講習生 山友会 池田、石田 雪稜会 小林 岳友会 東郷、蒲生

(コースタイム)取らず

膳所駅---びわ湖放送登山口---鉄塔---音羽山---観音越---平尾---
膳所駅

(報告)

膳所駅に集合し陸橋を渡ってびわ湖放送へ向かう。途中で記号の事、表し方にも優先順位がある事など説明する。登山口で現在地を確認して出発。小さな谷を渡る所で地図との感じ方の違いを見てもらう。さらに谷沿いを進み流れが大きく右に曲がる所で現在地の確認。ここは谷がいくつか合流する所なので分かりやすい。右に曲がる谷を登り大谷からの尾根に出る。ここでも現在地の確認。進行方向を磁石で確認して進む。少し登れば鉄塔のある広場。送電線や鉄塔は現在地の確認には欠かせない。この現在地が本当に正しいか、右手の中継所を使って確認する。まずまず合っていた。すぐにびわ湖放送からの尾根に合流する。ここからは平凡な尾根歩き。緩いピークを越えた鞍部で現在地を確認する。みなさん要領が良くなりました。東海自然歩道と合流し山頂に着く。ここで千頭岳の二つのピークを特定する。その後、私のザックの中を公開した。ツェルトを簡単に張ったり、メタを燃やしてみたりした。みんなに要所で待つていただき、観音越、尾根の分岐などを確認し、その都度磁石で進行方向を確認して進んでもらった。小さな神社を過ぎて平尾に着く。膳所駅まで歩いて次回の地図を渡して解散した。

(ハイキングセミナーに参加して)

蒲生 泉(湖南岳友会)

恥ずかしい話ですが、これまで地図や地形を意識して山を歩いたことは、ほとんどありませんでした。ハイキングセミナーに参加して、尾根と尾根の出合うところ、ピーク、谷が集まる場所など、地図を見ているだけではイメージできない地形を、実際に見て確認することができました。短いコースの中にたくさんのピークがあったり、鞍部があったりすることに驚きました。とは言え「ここがこうなっている」と言っていたかないとわからなくて、地図を見ながら現地を確認するというトレーニングを、もっと積み重ねることが必要だということを痛感しました。これを期に「連れて行ってもらう山行」から少しは進歩できればと思っています。

東郷 博行(湖南岳友会)

お陰様でコンパスの使い方が少しはわかったかな……？という感じです。現在地が特定できる地点ならまだしも、目印が見当たらない場合はお手上げです。地図と実際の対比に際しても不安なところがあります。セミナー最終回までに、少なくとも最低限の地図読みとコンパスワークができるよう勉強させていただければ幸いです。

小林 智子(比良雪稜会)

小さい谷に関心が向いてない。閉じてないピークは見逃す。一本の線が教えてくれる情報を、一つでも多く見つけられるようになりたいです。友永さんのザックの中身は興味深い内容でした参考にします。

石田 千恵美(滋賀山友会)

まず、地図読みでは山と谷の見方がまったく逆に見ていたのにはびっくりしました。コンパスを見て行きたい方向がわかるというのはいいですね。覚えの悪い私に何度も親切に教えていただいて……少しはマスター出来たかな？最初はセミナーに参加するのを迷っていましたが、参加して良かった。

池田信一(滋賀山友会)

8月19日は朝から地図読みの第1回実技があった。それに先立って8月5日に県連事務所にて座学があり、少々の予備知識を持って臨んだが分からないことが多々あった。

当日は、朝の集合場所である膳所駅にて今日の行程の線が入り、更に15カ所の○印がした上に矢印まで記入してある地図をもらった。今日はこの地図の○印の地点で矢印にコンパスを当てて矢印の方向と実際の方向とを合致させる訓練であった。最初はとまどったが何回か実践しているうちに慣れることができた。しかし、本来の地図は○印もなければ矢印の方向も明記されていない。当然だが行程は自分が作成しなければならない。最初に鉄塔の記載されている箇所を教えてもらったが老眼の私にとって見落とすような内容であった。「ハイキングABC」の P38に書かれている【地図に示された地形の例】をしっかりと頭に入れて地図を読み込むことが必要であることを痛感した第1回目の実技であった。

音羽山(ハイキングセミナーⅡ)

2017年9月2日 晴

(参加者)友永、馬場

講習生 山友会 池田、石田 雪稜会 小林 岳友会 東郷、蒲生

(コースタイム)取らず

京阪大谷駅---びわ湖放送下の分岐---鉄塔---音羽山---460mP---若葉台分岐---若葉台

(報告)

京阪大谷駅に集合し出発。しばらく国道を歩き大師堂の前から集落に入り、墓地の所から山道に入る。ここで墓地の記号をもとに現在地を確認して進む。谷沿いに進み尾根に出た所でも確認する。ここから音羽山の山頂まで何個ピークがあるか確認しながら行く。幾つかのチェックポイントを設定してあるので、そこに着くたびに現在地を確認する。前回通った鉄塔の所で山座同定をする予定だったが、予定していた山が木々で遮られて見えなかった。やむなく別のピークで行ったが不十分だった。山頂までは前回歩いているので簡単にすませる。山頂でも山座同定を行った。笹間ヶ岳、袴腰山などを探す。2度目なので皆さんかなり慣れておられた。マウンテンバイクの方とトレランの方がたくさん見られた。食事をすませ先に進む。登山者ともたくさんすれ違った。前回下った平尾への道に入り途中から 460mピークに登る。この分岐もしっかり確認して進むことができた。ここからは少し荒れた道となる。滑り易い下りが何か所かあったが上手に歩いていかれた。若葉台分岐で休む。ここからは良く踏まれた道を下る。溜池の堰堤で頭上に見えるピーク?を地図上で探す。コンパスの合わせ方も上手になっておられた。ここで次回の資料を渡す。宿題は次に歩くコースにはピークが幾つあるか推定してもらおう。

下って出合う最初の谷が前回歩いた尾根の観音越に向かう事も確認してもらおう。ここからは谷沿いに下り観音口のバス停まで行って終了。

現在地の確認は、鉄塔などの人工物、ピーク、急登の始めと終わり、尾根が大きく曲がる所、尾根と尾根の合流点や鞍部などで実施すると良くわかります。



(ハイキングセミナーに参加して)

石田 千恵美(滋賀山友会)

2回目のセミナーで、何とかコンパスの使い方がわかってきたと思うのですが、地図と実際に歩く距離の難しいのにさっぱりわからず戸惑っています。交代で次のピークを探すのも私は行き過ぎてしまいましたが、アドバイスをいただきながら少しでも地図読みの楽しさがわかればと思っています。

小林 智子(比良雪稜会)

自分の予想に自覚以上に自信過剰であることを再認識しました。「ド」が百個付くくらい初心者であることを認識する能力必須、地図を前に謙虚になりたいです。ピークの確認は面白かったです。

池田信一(滋賀山友会)

9月2日は朝の8時に京阪大谷駅に集合して第2回目の実技があった。前回は地図に対するコンパスの使い方が中心だったが今回は地図の読み方が中心だった。京阪大谷駅では1/25000の地図とそれを4倍に拡大した地図と1/50000の地図の3枚が渡された。その中でも中心は1/25000の地図である。地図における1ミリの長さが25 μ mとのこと。これは地図から体感するしかない。事前に友永さんの方で磁北線が引いてあり○印も付けられている。○印を見ながら本当にこの○印がピークなのかそれとも峠(鞍部)なのか何もないのかを見ていった。ハイキング ABC にも書かれているが「地図の読み方を身につけるには、実際に山で地図を広げて周りの地形と地図を見比べる。これを繰り返して慣れていく」しかないのだ。とにかく、休憩した地点で地図を広げる習慣を身につけることを学んだ。

初心者にとって1/25000の地図を4倍に拡大した地図で、この地形はピークなのか谷なのか鞍部なのかをその都度確かめながら進んだ。頂上には予定時間より早く着いたので食事の後に1/50000の地図とコンパスを駆使して実際の地図上の山を見つける訓練をした。

地形は地図に明確にされておりそれを正しく読み取ることは登山の一つの技術であることを感じた1日だった。

救助隊事務局会議報告

2017.9.11

出席 秋田、北村昌、友永、川嶋
欠席(連絡あり) 北村き、大井、乾、濱野

1.安全登山講習会について

①9月30日 大津市立市民文化会館 13時30分～16時予定

②9/11現在 参加者 3名 救助隊 5名

③進行予定

13時から準備 13時30分 受付開始 14時 開講
15時過ぎ 質問時間 15時30分 講演終了 16時 後片付け

④任務分担:受付&会計 北村き、大井 司会:北村昌 挨拶:秋田

資料準備:友永 名簿:友永 領収証:北村昌 記録・ニュース原稿:奥野

登山時報投稿:友永 写真:未定

表示:奥野さんに依頼→「救助隊安全登山講習会」

「演題 熊とどう関わるか?」(仮) 案内は不要?

プロジェクター・パソコン 必要なら秋田

2.事務局員について

候補者 岳友会→平山 雪稜会→木村

3.次回会議 12月4日の予定→忘年会も兼ねる?

2017年 第20回 労山自然保護講座に参加して

比良雪稜会 近藤ひろみ

8月19～20日、尾瀬にて「第20回 労山自然保護講座—夏季特別講座—」に参加してきました。個人的には、25年ぶりの尾瀬です。

19日12:00 鳩待峠に集合後、2組に分かれそれぞれ知識豊かな労山仲間のガイドと共に、山の鼻まで自然観察をしながら移動しました。

木道は、東京電力により傷みがひどい所は更新され、滑りやすい所はゴムが貼られて、よく整備されています。電柱は目立たぬよう茶色に塗られています。

そして、木道脇の植物に、シカに食べられたと思われる様子が見られました。また、湿原にだいぶ近づいた所で、ミズバショウが10m位の広い範囲で熊に食べられているのを発見。さらに、今そこに熊がいるとの事で監視員の方から下がるように言われ、一時通行止めになりました。よくある事のようにですが、熊に関しては、昔からこの辺りをえさ場にしていたようで、人との接触に気を付けているだけで、食害という事では対象にはなっていないようでした。

14:00より山の鼻ビジターセンターにて、「みんなの尾瀬をみんなで守るために～尾瀬におけるシカ対策～」のテーマで、環境省自然保護官の庄司亜香音さんの講演がありました。この広い尾瀬を、彼女とその助手、桧枝岐側の保護官とその助手の4人で管理しているそうで、え、そんなに少ないの？政府は環境保護に力が入っていない？とまず感じました。実際は林野庁等も管理しているようで、携わっている人材はもっと多いようでしたが。

講演内容は、以下の通りです。

1. 国立公園とは、優れた自然の風景地を保護し、かつ、適切な利用を増進するために指定され、保護と利用をバランスよく管理していく。

2. 90年代半ばからシカの生息が確認され始め、貴重な湿原植物の採食、ヌタ場としての利用により湿原の裸地化が起こっている。

3. 個体数変動の調査。ライトセンサス(湿原内で夜間にライトで照射することでシカを確認する)や林内に設置した自動撮影カメラで、定期的に定点でカウントする。ここ3年程大きな変動はないよう。

4. 植生被害の把握。植物の出現本数、被食本数、被食率を数える。全体的に植生被害は継続していて、減少の傾向はない。空撮によって全体の採食や裸地化の推移を把握する。採食で裸地になった所は、6年ぐらいで回復、又タ場のために裸地になると、10年位かかるようだ。

5. 行動生態の把握。GPS 個体追跡をする。尾瀬内での行動把握、季節移動と越冬地の把握。多くが日光方面で越冬し、夏になると尾瀬に来ることが解った。移動経路の中で複数が集中して通る場所(ボトルネック)があり、そこで捕獲する事が有効と解り、個体数調整を効率的にしている。

6. 今後も地元自治体や林野庁など様々な機関との連携を進める。

既に、林野庁や群馬県が柵を設置している所があるが、今年も設置する予定。

最後に質問時間があり、その後活発な意見交換をしました。シカの数減らせるような薬を空中散布できないかなんて言う過激な発言もあった中、気になったのが、捕獲したシカはその場で焼いて埋めていて、ジビエとして使用するには放射線問題があるという話でした。

17:00 から夕食、風呂、その後交流会が行われました。

20日 7:00 から自然観察会。牛首を往復後、自然保護園を歩きました。

秋の草花は、イワショウブ、ゴマナ、キンコウカ、コオニユリ、コバギボウシ、ソバナ、アブラガヤ、モウセンゴケ、その他たくさん見られましたが、オゼミズギクの群生がきれいでした。池澮には、オゼコウホネ、ヒツジグサも咲いていました。貴重なハッチョウトンボも見ることができました。シカやクマの獣道、食痕、採食地や又タ場の回復状況等を観察しました。さらになんと熊のウンチを発見！その上、子熊2頭が木の間で戯れているのまで観察できました。また空砲でクマを追っている音も聞き、ほんとにクマが多いことを実感しました。

10:00 過ぎには山の鼻小屋に戻り、閉会式の後 10:30 解散。

今回山に登る事はできませんでしたが、大変内容の濃い講座でした。

人がシカを増やしたことでえさ不足がおき、里山や高地にまで進出した皆さんの被害を広げた。結局人は自分で自分の首を絞めていて、動植物はその犠牲、なんだか気分がすっきりしませんでした。対策は講演内容通りで、今のところ殺して数を減らし、入ら

ないように柵をするしかないという事を、再認識しました。何か画期的な方法が出てこないか、祈るばかりです。



水芭蕉が熊に食べられた跡



CSS レベルアップ登山講座 第2回 山行報告 槍ヶ岳（横尾、槍沢コース）

山行日 9月8日～10日

講師：秋田

受講生：乾（彷徨倶楽部）森原（岳友会）山中（岳友会）清水（雪稜会/記録）

9月8日（金）晴れ 8：00守山駅集合ー平湯：タクシー乗換

ー上高地13：05～横尾山荘16：15

守山駅まで朝の通勤電車で移動。大荷物で恐縮しながら、隅っこで身を固くする。渋滞も無くスムーズに平湯へ。上高地に入ると前日までの大雨の影響で大正池も濁っている。道の途中、山崩れ跡の垂直に近い壁に取り付いて、何人もの作業員が工事しておられた。土砂が年々運ばれ、沢がほとんど埋まっている所があったり、、、山は生きているのを実感。ほぼ30年ぶりの上高地。徳沢は欧風のロッジになっている。気持ちのよい草地はそのままだが、木が大きくなっている。見上げた先にひと枝の紅葉が。小さい秋である。横尾に着いたら16：15。早々にテントを設営。人なつこい鳩を牽制しながら、熱々のミネストローネを頂く。恒例の自己紹介の後、眠りに就く。



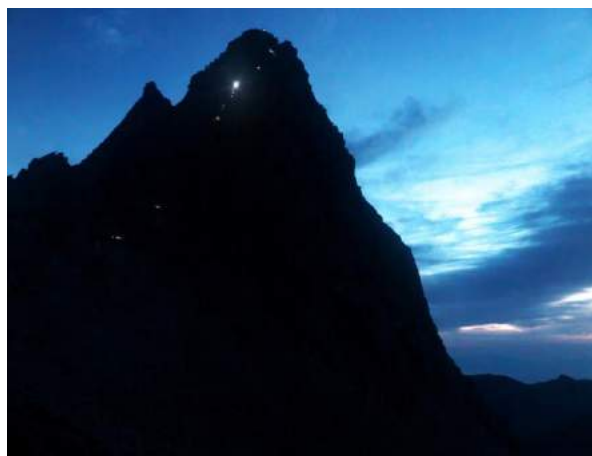
9月9日（土）快晴、夕方 小雨

横尾山荘4：35～槍沢ロッヂ6：20～
30 ～天狗池分岐8：50～9：00 ～
殺生小屋分岐11：10～11：20 ～
槍ヶ岳山荘12：20

まだ暗いうちに横尾を出発。沢沿いの気持ちの良い道を進む。当初登る予定であった横尾谷はまだ増水しており、事前のルート変更、的確な判断。今まで眺めるだけだった槍に向かうと思うと、心が弾む。そのくせ槍見河原では、槍を見るのを失念したまま過ごしてしまう。綺麗な槍沢ロッジで小休止。いかにも氷河でできたと思わせる地形。左側には川を挟んで中岳、大喰岳が姿を見せる。今年は雪が多かった所為か、雪渓がまだ残っている。赤い実をつけたナナカマドと、夏の高山植物が同居しており、今年の夏が、つとに遅かった事をうかがわせる。大曲を過ぎ天狗池の分岐へ。天狗池とそこに映り込む槍の美しい風景を想像しながら、またのチャンスを楽しみに。心にしまい込む。少しのロマンチックな気持ちを、嘲笑うかの様に、登りはいよいよ きつく、空気は薄くなっていく。槍ヶ岳の雄姿を鼻先のニンジンとして、気持ちを奮い立たせて、ひたすらに登る。リーダーが見つけてくれた、隠れ家の様な木陰での休憩。疲れを押しつけてワクワクした気持ちが顔を出す。槍ヶ岳山荘へ。メンバーの あと10メートル！ あと10歩！！の励ましで何とか到着。稜線上の棚田の様なテン場は良い眺め。設営を終えて16：30のアタック出発まで贅沢にお昼寝。ところがどっこい。男心と山の空。快晴が嘘の様に、まさかの雨。登頂は明朝へ。止み間を見計らって夕食。 災害時にも使えるよ。 と、熱耐久性の高いポリ袋を使った料理方法を御指南いただく。美味しいキーマカレーをいただき、明日に備える。

9月10日（日）晴れ

（槍ヶ岳山頂往復 6：20～
7：40）槍ヶ岳山荘8：00～
横尾山荘12：50～13：00
～上高地15：50～帰宅



夜間の風雨も徐々におさまってくる。写真好きのメンズ2人は早起きして撮影へ。強い風の中、テントを撤収。小屋に荷物をデポして、いよいよ山頂往復へ。しっかり防寒をして向かう。行列に並びながら霧や雲の動向に一喜一憂。やっと山頂に立った時には見事な展望。しかしそれに負けないくらい、霧が見せるブロッケン現象の美しかった事！！丸い虹に囲まれた人影が雲に乗って ワーッと近付いて来ると、ああ、お迎えが来た、、、と手を合わせそうになる。8:00に槍ヶ岳山荘を出発。名残り惜しいが下山開始。昨日見た雪渓が、驚くほど崩れている。それにしても、日曜日というのに登って来る人の多いこと。汗だくで息を切らしている顔を見ると、つい、励ましたくなってしまう。道を下っていると途中で石車に乗ってしまい、滑って転倒。足を挫いてしまう。メンバーの方々のテキパキした援助のお陰で、何とか歩けそう。上高地17時のリミットに向かって、身体をフルに使って歩く。ジュースやアイスで自分を少し甘やかしながら、痛み止めが効いている間に距離を稼ぐ。リーダーのペース誘導が功を奏し15:50に上高地に到着。皆さんに、心から感謝♡最後まで良く歩き頑張ってくれた足の集合写真を撮った。



「山を安全に楽しむための登山教室」

その7 登山に必要な体力とトレーニング

滋賀県勤労者山岳連盟 北村 昌文

①登山は激しいスポーツ

登山は歩くことが基本であるため、他のスポーツのように特別な技術は必要ではありません。そのため、誰でもできるものですが、簡単なハイキングでもジョギング程度の体力が必要で、登山は想像以上に激しい運動です。

他のスポーツに比べると活動時間が長く、簡単なハイキングでも数時間、3000m級の山になると、8時間以上を2～3日歩くということもあります。しかも思い荷物を持って斜面を登り降りしなければなりません。

体力が不足しているための事故も多く、安全に登山をするには持久力と筋力を高めるためのトレーニングが必要です。

②持久力を高めるために

登山は酸素を十分に取り込みながら長時間運動する、いわゆる「有酸素運動」で心肺機能が高められ、健康にも役立ちます。

有酸素運動のトレーニングはいろいろありますが、毎月1～2回でも、山に行くことが一番効果的でしょう。高低差のある道を早く歩いたり、自転車、水泳などもよいでしょう。

③筋力を向上させるために

登山は日常生活に比べて重い荷物を持ち、高低差のある道をバランスよく歩かねばなりません。そんな時に必要なのはお尻、太もも、ふくらはぎの筋肉、更に姿勢を保つための背筋、腹筋です。

これも山に行くことがトレーニングになりますが、日常的にも、ちょっとした時間を利用して筋力アップのトレーニングを行うことができます。いろんな方法が本やネットで紹介されていますが、継続することが重要です。

④ストレッチも重要

ストレッチは運動する際に筋肉をよくときほぐし、柔軟性を高めるために行います。

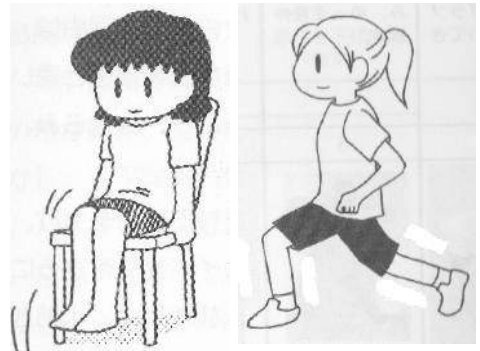
登山の途中や終わってから筋肉痛にならないために、運動前だけでなく、休憩時や終わってからのストレッチも大事です。

⑤中高年もトレーニング次第で

最近では中高年の登山者が増えています。登山中の疲労のしやすさは年齢とあまり関係なく、日頃のトレーニングや登山の頻度が関係しているというデータがあります。日頃の心がけ次第では、年齢を重ねても登山をすることは可能のようです。

(図の説明・左) 腹筋を鍛えるトレーニングです。椅子に座って、テレビなど見ながらでもできます。

(図の説明・右) 太ももの筋肉のストレッチです。筋肉をゆっくりと伸ばし、わずかに痛みを感じる手前で止め、10～20秒間そのままにします。呼吸は止めません。



ぐうたら理事長のつぶやき

登山祭典は多くのみなさんに会の存在をアピールすると共に、少しでも多くの参加者の方に会員になっていただけるようにしたいものです。

一つの組織が 40 年にわたり活動を継続してきた事は大いに自慢して良いことだと思います。多くの方に参加していただき喜びを分かち合うと同時に、今後ともさらに活動を盛り上げ継続していきたいものです(今月は少し手抜きした原稿です)。

呉枯の峰の管山寺の山門を守っていた一对のケヤキの大木の片方が折れていたと新聞で知りました。何百年もの寿命を持つ樹木でさえ、いつかは命の果てる日がやってくるのです。ましてやたかだか 80 年の命しかない人間にとって人生は束の間ですね。

以前横尾から蝶ヶ岳～常念岳を歩いた時、こんな事を書いていました。
「驚くほど明るい夜だった。1時30分起床。月の光が煌々と輝き、北尾根が白く浮かび上がっている。何とも言えぬ美しさです。しばらくは寒さも忘れて見とれていました。外はコッフェルの水に薄氷が張るほどの寒さです。ゆっくりと朝食をすませ3時30分出発。小屋の横が蝶ヶ岳登山口です。素晴らしい星空です。月が奥又白の尾根の彼方に傾きました。樹林の隙間越しに月の光が差し込んでいる。今、私の周りに立つ物言わぬ生き物達は、引力に逆らうこの徒勞の行為を一体何と見て見ているのか。人間の何倍もの生命を持つ彼らは、たかだか 80 年の生命を足早に通り過ぎていく生き物に、自分達の生命を預ける事をどう感じているのだろう。その答えを聞く事が出来れば良いのだが。樹林帯の中の急登が続く。空が白み始めた。素晴らしい夜明けの訪れです。穂高の峰々がひと時赤く燃えて黄金色に煌めく。世界のどこかで、いつでもこんな夜明けが訪れます。こんな当たり前の事を私達は忘れていないのだろうか。」

世界中で、当たり前の事が、当たり前にできて、当たり前に生きていける日は、いつ訪れるのだろう。

10月14日の土曜日、少しハードな山行をしたいと思います。志賀駅から荒川峠を越えて奥の深谷に下り、南比良峠に登り深谷を下って比良駅にでます。地形的に古い道があったのではと推定しています。谷も等高線の込み具合から大きな滝はないと思いますが、念のため 20mほどのロープは持って行こうと思います。持っている方はシュリング、カラビナも持ってきてください。

8時15分志賀駅集合にします。

参加していただける方は 10月11日までに友永まで連絡してください。

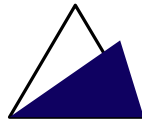
電話番号 077-524-5618 メールは yt19481013@yahoo.co.jpです。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
10	4	第9回理事会	10	1	10月例会 (場所未定)	岳友
				5-9	韓国の山(小白山 大白山 周王山)	彷徨
	7	比良・神璽谷～深谷		山友		
	7~8	加賀 白山		岳友		
	7~9	熊野古道		ちご		
	7-9	北ア・下ノ廊下 (CSS、レベルアップ登山講座)		8~9	鉢伏山・氷ノ山	雪稜
				13~15	大普賢岳～行者還岳	雪稜
				14-15	福井・経ヶ岳	山友
				19	ミーティング	彷徨
				20~22	黒部下ノ廊下	雪稜
				21	比良・坊村～深谷	山友
				21-22	信越トレイル	彷徨
	28-29	全国自然保護担当者会議		28	ミーティング	岳友
	29	登山祭典		29	音羽山(登山祭典)	山友
		29	雨乞岳(登山祭典)	岳友		
		29	己高山(登山祭典)	雪稜		
		29	織山(登山祭典)	ちご		
		29	大文字山(登山祭典)	彷徨		
11	3-5	南ア・黒法師岳 (CSS、レベルアップ登山講座)	11	3	皆子山	雪稜
				3-4	扇ノ山	彷徨
	5	横山岳		岳友		
	4-5	全国救助隊技術交流集会		5	比良飲水調査	雪稜
	8	第10回理事会		12	魚の子山～宮メズラ	雪稜
				12	朽木・池原山～駒ヶ岳	山友
				12	奈良 曾爾高原	ちご
				16	ミーティング	彷徨
				18-19	イブネ テント泊山行	岳友
				19	愛宕山～水尾	雪稜
		25	葛城山～金剛山(ダイヤモンドトレイル)	彷徨		
		25	ミーティング	岳友		
		26	京都 北山	ちご		
12	2-3	第8回 女性と登山全国集会	12	1-4	香港の山	彷徨
				2	忘年会山行、栗東の山	山友
	3	朽木の山		山友		
	6	第11回理事会		3	那須ヶ原山	雪稜
				3	12月例会 養老山	岳友
				9	三上山～鏡山	雪稜
				9~10	総会・忘年会(希望ヶ丘)	ちご
				14	ミーティング	彷徨
				17	12月例会 剣尾山・北摂	岳友
				17	ナツチョ～花折峠	雪稜
		24	比叡山	雪稜		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部
 スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟は
本年 40 周年を迎えました



原稿の投稿先 11月号は2017年10月15日(切)
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№554

発行日 2017年9月21日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarousan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子